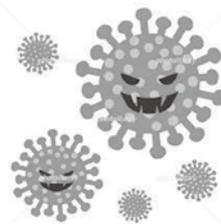


災害時の避難はどうすればいいの

(新型コロナウイルス流行時の考え方)



あることから避難所に避難することが重要です。

【災害時の避難とは】
災害時、または災害が起こりそうなとき、危険なところにいる人は安全なところに一時的に移動することが大切です。

町から避難したほうがいいですよというメッセージとして警戒レベル3以上である避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)が発令されたとき、あらかじめ安全なところとして選定している避難所に移動して危険が去るまでいていただくことが避難です。

【感染症流行時には】

十分な広さがない避難所に多くの人が集まれば、新型コロナウイルス感染症防止の重要項目である「3密」の状態となり、感染症拡大の恐れもあります。

ただ、生命に差し迫る危険としてどちらのリスクが高いかを比べると、風水害や地震のほうが切迫した危険で



ただし、避難に関する情報が提供されたとき全員が避難しなくてはならないかという点、土砂災害や洪水を想定した場合、土砂災害警戒区域(イエローゾーン)・土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)にいる人や浸水想定区域にいる人以外はあえて避難所に行くことなく、自宅の2階または裏山や川から離れた部屋で安全になるまで待っていただく(垂直避難)を行うことも安全を確保する一つの選択肢です。



【体調に異常がある人は】
避難所では入所時に体調に異変を感じた人は

その他、安全なところにある親戚、知人宅に身を寄せても構いません。
避難所以外に避難したときは、地区の代表者にそのことを必ず連絡して無事であることを伝えてください。
また、イエローゾーン・レッドゾーン等に入っていないなくても、必ずしも安全ではないところもありますので、危険を感じた人は避難所に避難しましょう。

避難所の責任者にその旨を申告してください。特に発熱・咳・倦怠感・節々の痛み・味覚や嗅覚の異常等がある人は慎重に行動してください。

避難所の代表者は、このような症状を訴える人がいた場合は速やかに地域振興センターを通じて日南町災害対策本部に連絡して指示を受けてください。また、地域振興センターに連絡ができないときには直接日南町役場に連絡してください。そして訴えのある人はできれば別室にいてもらうか、他の避難者から離れたところで指示を待つてください。

状況によっては指示があるまで安全なところに停車した車の中で待つていただくことも検討してください。

【避難所で注意ポイント】

避難者はマスクを着用し、避難所に入るときに手指消毒液で手を消毒するか、消毒液がない場合は、屋外の立水栓等で石けんを使い入念に手洗いをしてから入所してください。

避難所ではできるだけ換気を心がけ、1時間に1回、5分から10分くらい窓を開けて換気を行ってください。

避難生活では、体温を下げるために厚手の衣類等を持って避難し、十分な栄養と睡眠がとれるよう気を付けましょう。

感染症としては新型コロナウイルス以外にもインフルエンザやノロウイルス等の感染症もあります。考え方は同じです。

感染症に注意して適切な時期に安全な避難を行います。

【問】 役場総務課 TEL 8211111

